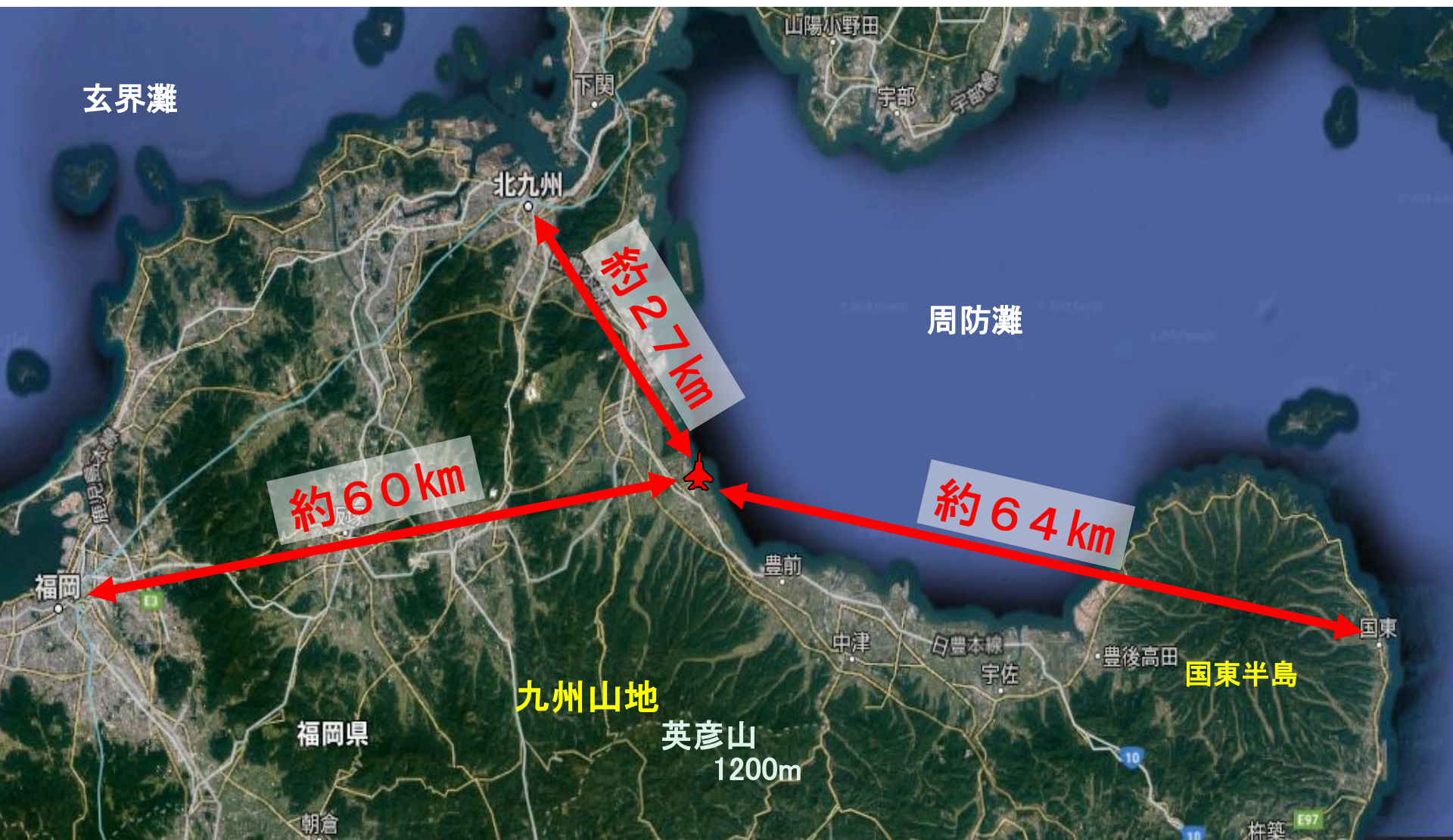


基地の位置



基地の特性

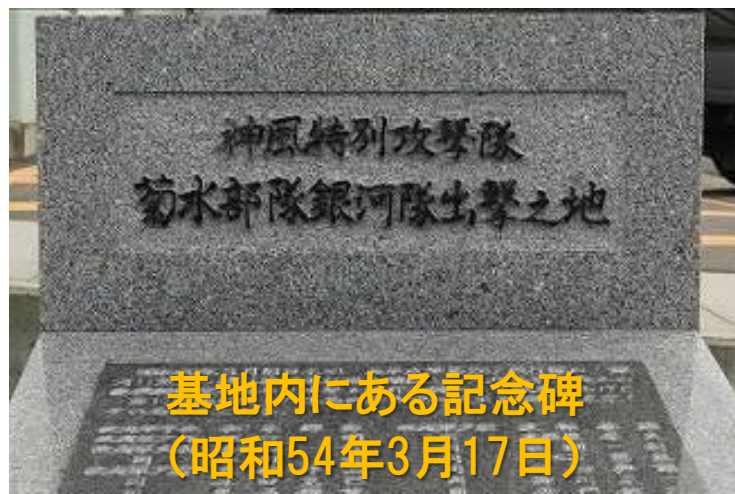


基地の沿革

- 昭和14年(1939年) 飛行場建設開始
- 昭和17年(1942年) 築城海軍航空隊 開隊
- 昭和20年(1942年) 特別攻撃隊が編成



3月18日 神風特別攻撃隊 菊水部隊銀河隊が出撃
(5機 15名散華)



基地の沿革

昭和20年(1945年)

8月15日

9月

終戦

築城海軍航空隊廃止

(築城飛行場として、大蔵省が管理)

昭和21年(1946年)

米軍進駐

昭和29年(1954年)

防衛庁・航空自衛隊発足

昭和30年(1955年)

臨時築城派遣隊編成

ジェット練習機(T-33)の

操縦訓練開始 (米軍は駐留したまま)

昭和32年(1957年)

米軍から航空自衛隊に基地全面返還

「航空自衛隊 築城基地」設置

日本人によるジェット戦闘機初飛行基地

昭和39年(1964年)

第8航空団新編 (F-86、T-33)

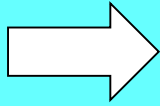


装備品の状況(変遷)

第10飛行隊

(昭和39年)

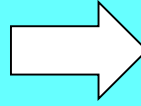
F-86F



第304飛行隊

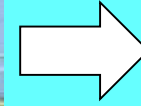
(昭和52年)

F-4



(平成2年)

F-15



第8飛行隊

(平成28年)

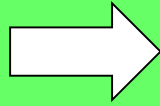
F-2



第6飛行隊

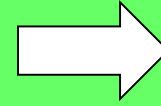
(昭和39年)

F-86F



(昭和56年)

F-1



(平成18年)

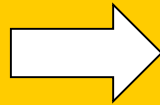
F-2



第7高射隊

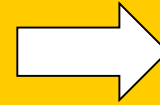
(昭和41年)

ナイキ



(平成6年)

パトリオット



(平成21年)

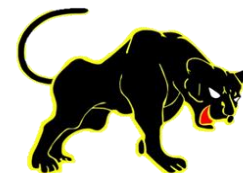
PAC-3



主要裝備品（航空機）



第 6 飛行隊 (6SQ) ・ 第 8 飛行隊 (8SQ)



戦闘機 F-2A／F-2B
(単座機) (複座機)



練習機 T-4

主要裝備品(基地防空火器)

第8基地防空隊



築城基地の構成

築城基地司令

第 8 航 空 団

西 部 高 射 群 第 7 高 射 隊

西 部 航 空 施 設 隊 第 3 作 業 隊

航 空 支 援 隊

築 城 管 制 隊

築 城 気 象 隊

築 城 地 方 警 務 隊